

## 「予報」

10月18日(土)の体育会は天候不良のため、途中までの実施となりました。また一度目の延期日の22日(水)も同じ理由で、順延となりました。観覧を楽しみにされていた皆様には、大変申し訳ありませんでした。再延期となった23日(木)は幸い天候にも恵まれ、2、4、6年生の競技・演技を無事行うことができ、多数の地域・保護者の方々に参観していただきました。ありがとうございました。

もう一つ保護者や地域の皆様にお礼を言いたいことがあります。それは、体育会後の片付けについてです。とてもたくさんの方々にお手伝いいただき、閉会式終了30分後には運動場がいつもの状態になっていました。おかげで業間休みに、子供達が運動場で遊ぶことができました。24日(金)までは運動場は使用禁止予定だったので、子供達は大喜びでした。お一人お一人にお礼やお声がけできなかったの、この場を借りてお礼を申し上げます。手伝ってくださった方々、本当にありがとうございました。

10月18日(土)当日、朝5時に起きて一番初めにしたことは、天気予報の確認でした。スマホとテレビの電源を入れると、どの予報でも「午前中は曇り、午後から雨に」でした。少し安心して学校に6時過ぎに到着し空を見上げると、雲は散見されるものの、雨が降りそうな気配は無く、体育会決行という判断をしました。ですがその後はご存じのようにどんどん雲行きが怪しくなり…。雨雲レーダーと終始にらめっこで、延期の判断では大いに役に立った一方、スマホに振り回された半日でした。

スマホという機器は本当に便利で、その時その場ですぐに欲しい情報が手に入ります。情報の発信も同様で、思いついたら全世界に向けて即送信も可能です。情報入手が容易ということは、不必要な情報や好ましくない情報も目にするということになるということであり、情報発信が容易ということは、個人情報や誤情報の流出の危険性があるということです。使いようによっては、毒にも薬にもなります。

スマホが日常的に使われている現代では、それなくしての生活は難しいでしょう。また使用において低年齢化が進み、小学生の使用割合もどんどん高くなるだろう、予想や予報が出ています。便利な機器であるからこそ、薬だけでは無く毒の部分にも目をやり、その毒を制御する方法が求められているのでは無いでしょうか。学校では今、各学年での情報教育や、外部講師を招いての4～6年一斉情報モラル授業で、情報機器の使用について授業を行っています。ぜひ各ご家庭でも、「家でのスマホ等情報機器使用でのルール作り」にご協力いただければありがたいです。また所持の是非についてもぜひご一考をお願いします。

(校長 塩田 佳久)